

会 議 録

会議の名称	平成30年度第2回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会
開催日時	平成31年2月14日（木） 13:30～14:30
開催場所	飯塚市役所 本庁 5階 研修室2・3
出席委員	中村委員、右橋委員、上田委員、小松委員、松浦委員、田中委員、高山委員、永末委員、守光委員、吉野委員、渡辺委員、藤田委員
欠席委員	西園委員
事務局職員	市民環境部：中村雅彦 医療保険課：手柴英司、中村達也、原野正俊、田原裕亮、山本幸次郎、坂田和代、片山規子 税務課：長尾恵美子
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 平成30年度国民健康保険特別会計決算見込について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 平成30年度の決算見込みは、歳入総額145億8480万2千円、歳出総額139億7499万8千円、差引き6億980万4千円の黒字決算の見込み。 <p>(2) 平成31年度国民健康保険税率の改正等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 平成30年度は2億1669万円の黒字、平成31年度は7384万6千円の赤字、2年通算して1億4284万4千円の黒字を見込んでいるため、平成31年度の国民健康保険税率は改正しない。 <p>(3) 平成30年度特定健康診査等の実績見込について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 平成31年1月25日現在において、対象者19,080人中受診者7,215人、受診率37.8%で昨年度の同時期よりも7%減少している。また、保健指導の対象者は836人で、保健指導修了者は171人となっている。 <p>(4) 平成31年度保健事業（新規事業）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「糖尿病重症化予防」は高額・長期化する透析患者の増加を防ぐために飯塚医療圏（飯塚市・嘉麻市・桂川町の2市1町）で取り組む新規事業である。 ➤ 具体的事業としては、「微量アルブミン尿検査」による早期発見。推進体制としては、「飯塚医療圏糖尿病重症化予防推進協議会準備会(カンファレンス会議)」を2カ月に1度開催し、医療スタッフ等も加えた「飯塚医療圏糖尿病重症化予防推進協議会（全体

	<p>会)」を年1回開催する。</p> <p>(5) 残薬バッグ活用事業の試行結果等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 医療費の削減・抑制のため、廃棄薬剤の有効活用を促し、医療費適正化を一層推進することを目的とした飯塚市・嘉麻市・桂川町の2市1町で試行的に取り組んだ新規事業である。 ➤ 平成30年4月から9月までの半年間で2市1町合計すると、21薬局68件、削減額315,769円、1件あたりで4,643.6円の効果となっている。今後、配布薬局、配布枚数を増やし、事業成果の拡大を図っていく。 <p>(6) 医療費適正化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ジェネリック医薬品について、ジェネリック医薬品利用による医療費削減見込額を被保険者に通知すること等により、金額ベースによる普及率は平成29年度実績で40.6%となっている。 ➤ レセプト点検効果率について、単月縦覧点検を通して、禁忌薬剤の使用や第三者行為の疑いのあるレセプトを抽出し点検することにより、財政効果率は0.45%とここ数年の実績を上回っている。 ➤ 第三者行為求償について、交通事故や他人の飼い犬に噛まれた等の給付が第三者の行為によって生じた場合に、その給付の価額を限度として加害者や保険会社に損害賠償を請求するもので、平成30年度は5千万を超えている。 <p>3 閉 会</p>
<p>会議資料</p>	<p>平成30年度 第2回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会資料</p> <p>資料1 平成30年度国民健康保険特別会計決算見込</p> <p>資料2 平成31年度国民健康保険税率の改正等</p> <p>資料3 平成30年度 特定健康診査等の実績見込</p> <p>資料4 平成31年度保健事業（新規事業）</p> <p>資料5 平成30年度 残薬バッグ活用事業の試行結果等について</p> <p>資料6 医療費適正化特別事業について</p>
<p>公開・非公開の別</p>	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 0名)</p>
<p>その他</p>	